

第47回 100年史誌部会 議事録(案)

日時： 2010年3月17日(水)15時00分～16時35分

場所： 第1応接室

出席者： 横山孝男部会長、粟野宏、松田則男、大町竜哉、奥山澄雄、小山明夫、新関久一、小池邦博、山崎洋一郎、結城敏夫各委員、小室秀一編纂局員、斎藤ひろみ編纂補助員、小関栄助氏、細谷朋宏氏(株式会社ぎょうせい)、村田久氏(有限会社北の杜舎)

欠席者： 高畑保之、神戸土郎、片山政弘各委員

【配付資料】

- [資料47-1] 「今度退職される教職員の皆様へ」(資料・情報ご提供に関する横山部会長名での依頼文)[A4判1頁]
- [資料47-2] ジャーナル「百人の声」原稿依頼状況(2010年3月17日現在) [A4判2頁]
- [資料47-3] ジャーナル「百人の声」原稿(佐藤教郎氏) [A4判1頁]
- [資料47-4] ジャーナル「百人の声」原稿(黄 清隆氏) [A4判1頁]
- [資料47-5] ジャーナル「百人の声」原稿(草賀 淳氏) [A4判1頁]
- [資料47-6] ジャーナル「百人の声」原稿(佐藤 勉氏) [A4判2頁]
- [資料47-7] ジャーナル進捗状況について(3月17日) [A4判1頁]
- [資料47-8] 山形大学工学部百周年記念誌『パトリアの学府』台割表 [A4判1頁]
- [資料47-9] 山形大学工学部百周年記念誌『パトリアの学府』目次 [A4判1頁]
- [資料47-10] 「米澤高等工業学校初代校長大竹多氣について」(小関氏) [A4判8頁]
- [資料47-11] 山形大学工学部100年間で主な功労者、著名人について [A4判2頁]
- [資料47-12] ジャーナル「同窓生を訪ねて～「理(ことわり)」を求める人」吉本隆明さん～」原稿(山崎委員) [A4判1頁]
- [資料47-13] ジャーナル「百人の声」ゲラ刷り [A3判15頁]
- [資料47-14] ジャーナル エピローグ「無の豊かさ」原稿(横山部会長) [A4判2頁]

I) 報告事項

1. ホームページの更新

前回の部会以降にアップロードされた「今月の話題(2010年2月号/片山政弘)」および「100年史誌部会第45・46回議事録公開」について、斎藤編纂補助員が口頭で報告した。

2. 退職される教職員からの資料提供について

資料・情報ご提供に関する依頼文を、ホームページにアップロードするとともに、教職員全員への電子メールを送付したい、ただし過度なお願いにならないようにしたい旨、横山部会長が報告した。[資料47-1]

II) 協議事項

1. 100周年記念誌

①「百人の声」原稿について

[資料47-2]～[資料47-6]により原稿の集約状況を松田委員が報告した。最終的な受領済み原稿は103件であり、未受領稿が届いた場合にはなんらかの別な機会に生かすよう検討することになった。

②「年代記」の校閲について

松田委員からの報告により、次の8名の委員に翌週はじめまでに校閲をお願いすることになった。

第1章：小山・片山両委員、第2章：新関・山崎両委員、第3章：大町・奥山両委員、第4章：神戸・結城両委員

③記念誌の進捗状況について

細谷氏から [資料47-7]～[資料47-9] により前回部会以降の経過、留意点と今後の作業(年代記、学長メッセージ、キーワード・コンセプト、編集後記等、略年表の5点)について報告された。

また、ジャーナルに関する [資料47-12]～[資料47-14] についても簡単な報告がなされた。

さらに、冊子体の刷りものが回覧された。そのさい、表紙の意匠について意見交換が行われ、表紙・裏表紙にはそれぞれ米沢織・工学部建物の写真を使うことでまとまった。

2. 百年史

①今月の話題

当番にあたっている小池委員が、応用生命システム工学の横山道央教員から当月中に原稿をいただく予定である旨報告した。

また、小室編集局員からは、次月の当番が小池委員であるとコメントがあった。

②「米澤高等工業学校初代校長大竹多氣について」

小関氏から、前回部会に報告された原稿 [資料46-1] に続き、「英語教育」「校長としての多氣の指導」「多氣と和歌」などの部分を加筆した旨報告された。[資料47-10]

Ⅲ)その他

1. 山形大学100年間の主な功労者・著名人について、横山部会長が [資料47-11] により、生年順に秦逸三、大高庄右衛門、安西浩、田口連三、吉本隆明、高橋朗、城戸淳二の7氏が提案され、高羽哲夫、佐藤安太の2氏を追加することになった。

2. 次回(第48回)の会議は4月28日(水)16時10分から第1応接室で開催する。

3. 結城委員から、年度末の人事異動のため綿貫藤雄氏と委員を交代することになった、と挨拶があった。

以上

第1稿：2010年4月20日、粟野(記)